

育みたい

Ⅳ 夢・希望



親子でチェック

- 1 子どもの成長を見つめ、よいところを伝えている。 はい いいえ
- 2 子どもが興味をもっていることや将来の夢について話をしている。 はい いいえ
- 3 自分の仕事のよさや大変さについて話をしている。 はい いいえ
- 4 学校での学習と社会とのつながりについて話をしている。 はい いいえ
- 5 世の中の出来事やニュースを話題にしている。 はい いいえ

夢を育む場

子どもの夢を育み、可能性を広げるためには、現場で活躍する人にふれたり、実際に自分が体験したりすることが大切です。

千葉県では、子どもが、先端的な科学・技術体験や様々な就業体験を行う「千葉県夢チャレンジ体験スクール」を実施しています。研究者や職業人との交流を通して、職業に必要な資質や能力等について学ぶことができます。

ちば 夢チャレ 検索



仕事にふれる場

子どもが「働くこと」に興味をもち、自立して、仕事を通じて社会に貢献することができるようになるためには、大人が働く姿を見せたり、家庭で仕事の話をしたりすることで、「働くこと」の大切さを知る機会を積極的につくっていく必要があります。

学校の職場見学での感想を話題にしたり、親の職場を見せる機会があれば積極的に見せたりして、親や大人が働く姿に接する機会をつくっていきましょう。

つなげたい

Ⅴ 体験活動・地域とのかかわり

親子でチェック

- 1 地域の方々（近所の方）にあいさつをしている。 はい いいえ
- 2 地域行事（ボランティア活動、スポーツ・文化活動等）に参加している。 はい いいえ
- 3 異年齢の子どもたちと遊んでいる。 はい いいえ
- 4 自然や動植物とのふれあいを大切にしている。 はい いいえ
- 5 図書館・公民館・博物館・美術館・自然の家等を利用している。 はい いいえ

心の成長には豊富な体験を！

子どもの頃の体験（自然体験、動植物とのかかわり、友だちとの遊び、地域活動、家族行事、家事手伝い）が豊富な人ほど、大人になってからのやる気や生きがい、モラルや人間関係能力などの資質・能力が高い傾向があります*。親子で地域の活動や体験の場に積極的に参加しましょう。

*独立行政法人国立青少年教育振興機構の調査結果から

「親力アップいきいき子育て広場」の活用を！

聞いてみよう子どもの声、子育て豆知識、おすすめの本など家庭教育・子育てに役立つ情報を発信中！

ちば 親力 検索



【QRコード】

小学4年生の保護者の皆様へ

もう一度 やって みよう！ 親子でチェック！



*小学校入学時に家庭教育リーフレット小学生版「やってみよう！親子でチェック」を配布しています。

じっくりと見つめ、力強くサポートするために！

小学校生活も半分が過ぎ、ずいぶんたくましく成長したお子様。自分一人であることが増える一方で、まだまだ親に頼る場面も……。心と身体が大きく成長し始める時期だからこそ、お子様の発達や不安をじっくりと見つめ、親として力強くサポートすることが大切です。お子様が生き生きと成長していけるよう、日々の生活について親子で確かめ合いましょう。

各ページにチェックリストがありますので、親子で話し合いながら確認してみましょう。チェックリストの内容は目安です。

「小学4年生」 ここに注目

- I 親の影響を強く受ける生活から友達を中心とした生活への変化が始まります。
- II こまごまとした親の干渉を嫌がる一方で、まだまだ親の支えが必要です。
- III 考える力が大きく成長する時期です。学習内容が質的に変化します。
- IV 自分を客観的に評価できるようになり、優越感・劣等感が芽生えます。
- V ゲームやインターネットを通じた疑似的・間接的な体験が増えます。

身につけさせたい I 基本的な生活習慣ときまり



親子でチェック

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 生活のリズム（早寝早起き朝ごはん）を身につけている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 2 家族みんなとあいさつをしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 3 健康に気をつけて生活している。（手洗い・うがい・歯磨き） | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 4 整理整頓と身だしなみに気をつけている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 5 思いやりの心をもって友達と接している。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 6 “いじめは絶対に許されない” ことについて話し合っている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 7 家庭のルールや社会のきまりを守っている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 8 なぜ、ルールやきまりを守らなければならないか理由を話している。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 9 スマートフォン・携帯電話やゲームの使い方について約束事を決めている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

言葉遣い

友達との関係が大切になり、仲間意識が一段と強まる時期です。また、自分一人ですることが増え、自己主張も強くなり、親への口答えや言葉遣いの乱れなどがみられるようになります。

親としては不安になりますが、成長の一過程ととらえ、冷静に受け止めましょう。

ただし、子どもの判断力はまだまだ未熟ですので、人を傷つけるような言動がみられたときは、親がしっかりと善悪の基準を教え、その理由を子どもにとって分かりやすい言葉で伝えることが大切です。



スマートフォン・ケータイ

千葉県調査*では、小学4年生の59.6%がスマートフォンまたは携帯電話を所有しており、36.9%が利用する際の危険性を学ぶ機会がないと回答しています。

そこで……

- 困ったことがあるときはすぐに相談する
- 使用する時間や場所、目的を決める
- 知らない人とやりとりしない
- フィルタリングを設定する
- 有料サイトを無断で利用しない
- 名前や住所等の個人情報を書き込まない
- ルールを守らない場合は一時利用禁止とする

安全に利用するため、親が使い方をしっかり管理する必要があります。親子で話し合い、上記のような約束事を決めることが大切です。

*千葉県総合教育センター「スマートフォンやケータイ等の利用に関する調査」平成27年



深めたい II 親子のコミュニケーション



親子でチェック

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 子どもの話を、顔を見ながら最後まで聴いている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 2 できるだけ家族だんらんの時間や場をもつようにしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 3 学校での出来事について会話をしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 4 子どもの活動を応援したり、一緒に参加したりしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 5 子どもの「やる気」を認め、ほめるようにしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

どこをほめる？

この時期の子どもは「算数は苦手だけど走るの得意」、「昨日はだめだったけど今日は調子がいい」などと自分を客観的にとらえるようになります。

子ども自身が自分をどのように評価しているかを理解した上でほめることが大切です。

結果だけでなく過程に注目し、今がんばっていることをほめてあげましょう。また、自信を持てずにいるときには、子どもの話を聞いて励ましてあげましょう。

信頼する人の一言

先生からアドバイスされたとたんに読書を始めたり、好きな友達の影響を受けて新しいことにチャレンジしたりするなど、親の知らないところで子どものやる気生まれていることがあります。

こうしたチャンスを生かすためには、日頃のコミュニケーションを通じて、子どもが誰に信頼を寄せているかを知ることが大切です。親が子どもとその人との関係を尊重したり、信頼関係を築いたりしていると、子どもは安心して頑張ることができます。



取り組ませたい III 家庭学習・読書の習慣

親子でチェック

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 1 毎日、自分で時間を決めて学習をしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 2 学習に、より関心が高まるような会話をしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 3 宿題をチェックしたりノートを見たりして子どもの学習を支えている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 4 学習や読書をしているときはほめたり励ましたりしている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 5 本を読む姿を子どもに見せている。 | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

家庭学習の習慣を！

物事をある程度抽象化して認識することが可能になり、その能力が増し、思考力が大きく伸びる時期です。家庭学習の習慣が身についているか確認しましょう。

わからないときには、あせらずじっくり取り組むよう声をかけ、努力をほめて、少しずつ乗り越える手助けをしてあげましょう。また、できたときには発展的な問題に取り組ませたりして、さらなるやる気を引き出しましょう。

★家庭学習の確立と充実をめざし、家庭でも活用できるヒントを掲載しています。

ちば 家庭学習のすすめ

家庭読書「家読」（うちどく）のすすめ

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。思考力が大きく伸びるこれからの時期に、物語や説明文など、さまざまな読み物に挑戦してみましょう。

親が読書する姿を見せると、子どもの読書への関心・意欲を高めることができます。また、家族で読書の日を設けたり、同じ本を読んで感想を話し合ったりすると、家族の絆も深まります。

★図書館司書が選んだ「子どもに読んでほしい本100選」を紹介しています。

ちば 本 100選

